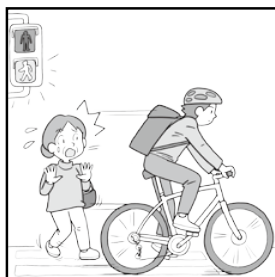


ヒヤリハット事例

06

就業途上





次のページを見る前に下記のことをご自身で検討してください。

- 1** 上の絵は、就業中に実際に事故があった又はヒヤッとした体験の一場面をイラストにしたものです。この状況を想像し、考えられる危険要因を挙げてみて下さい。
- 2** あなたなら、どのようにしてこのヒヤリハットがないようにしますか。

前ページの絵のヒヤリハットした状況

何の仕事をして いた時のことですか	就業後の帰宅途中
そのとき何人で 仕事をしていましたか	1人
どんなことが 起こったのですか	急に自転車が左折してきて、衝突しそうになった。
どんな場所で (周囲の状況)	信号機のない交差点
どのようなこと をしていて	交差点を渡っている途中
どうなった のですか	目の前で止まったので、衝突は避けられたがヒヤリとした。

ヒヤリハットした原因と今後の教訓

原因

危なかった原因

- 夕方就業先からの帰宅途中、信号のない交差点を渡っていたところ、車道から無灯火の自転車が急に左折してきてぶつかりそうになった。

教訓

みんなの
教訓にして
もらいたいこと

- 冬の夕方は、暗くなるのが早いため、無灯火の自転車は見えづらいので注意すること。
- 自転車に乗っている時は、暗くなる前にライトを点灯すること。
- 交差点を渡るときは、左折車などに注意すること。



次のページを見る前に下記のことをご自身で検討してください。

- 1** 上の絵は、就業中に実際に事故があった又はヒヤッとした体験の一場面をイラストにしたものです。この状況を想像し、考えられる危険要因を挙げてみて下さい。
- 2** あなたなら、どのようにしてこのヒヤリハットがないようにしますか。

前ページの絵のヒヤリハットした状況

何の仕事をして いた時のことですか	就業前の出勤途中
そのとき何人で 仕事をしていましたか	1人
どんなことが 起こったのですか	雪で足を滑らせた。
どんな場所で (周囲の状況)	雪の降った翌日の歩道
どのようなこと をしていて	雪の積もった所を避けて歩行中
どうなった のですか	雪が踏みしめられ、滑りやすくなっていたので、足を滑らせて転びそうになったのでヒヤリとした。

ヒヤリハットした原因と今後の教訓

原因

危なかった原因

- 歩道に雪が積もっていた。
- 雪が踏み固められ、滑りやすい状態になっていた。
- 通勤を急いでいた。

教訓

みんなの
教訓にして
もらいたいこと

- 道路の轍や踏みつけられた雪は、滑りやすいので、注意すること。
- 雪の日は、靴の底が滑りにくいものを履くこと。
- 雪の日は、橋や歩道橋は凍りやすいので、なるべく避けて通勤すること。
- 坂道は遠回りになっても避けること。



次のページを見る前に下記のことをご自身で検討してください。

- 1** 上の絵は、就業中に実際に事故があった又はヒヤッとした体験の一場面をイラストにしたものです。この状況を想像し、考えられる危険要因を挙げてみて下さい。
- 2** あなたなら、どのようにしてこのヒヤリハットがないようにしますか。

前ページの絵のヒヤリハットした状況

何の仕事をして いた時のことですか	就業前の出勤途中
そのとき何人で 仕事をしていましたか	1人
どんなことが 起こったのですか	転倒しそうになった。
どんな場所で (周囲の状況)	歩道の継ぎ目
どのようなこと をしていて	足を引っかけた
どうなった のですか	道路の一寸した段差に躓き、転倒しそうになり ハットした。

ヒヤリハットした原因と今後の教訓

原因

危なかった原因

- 日ごろの運動不足。
- 段差には気づいていたが、足が上がらなかったのか、爪先を段差に引っかけてしまった。
- 若い時と同様に、足が上がるものと思っていたが、上がっていなかった。

教訓

みんなの
教訓にして
もらいたいこと

- 日頃から軽い運動でも良いので行うこと。
- ウォーキングを行うときは、5分ごとに早歩きと普通の歩きを繰り返すと効果的であること。
- 加齢で運動量が落ちていることを認識すること。
- 朝のテレビ体操や、各区で行っている、シルバー体操などに参加し体を動かすこと。



**次のページを見る前に下記のことを
ご自身で検討してください。**

- 1** 上の絵は、就業中に実際に事故があった又はヒヤッとした体験の一場面をイラストにしたものです。この状況を想像し、考えられる危険要因を挙げてみて下さい。
- 2** あなたなら、どのようにしてこのヒヤリハットがないようにしますか。

前ページの絵のヒヤリハットした状況

何の仕事をして いた時のことですか	植木の剪定作業就業途上
そのとき何人で 仕事をしていましたか	2人
どんなことが 起こったのですか	子供が飛び出してきた。
どんな場所で (周囲の状況)	民家の多い狭い路地
どのようなこと をしていて	車の運転中
どうなった のですか	急ブレーキをかけ、衝突は避けられたがヒヤリ とした。

ヒヤリハットした原因と今後の教訓

原因

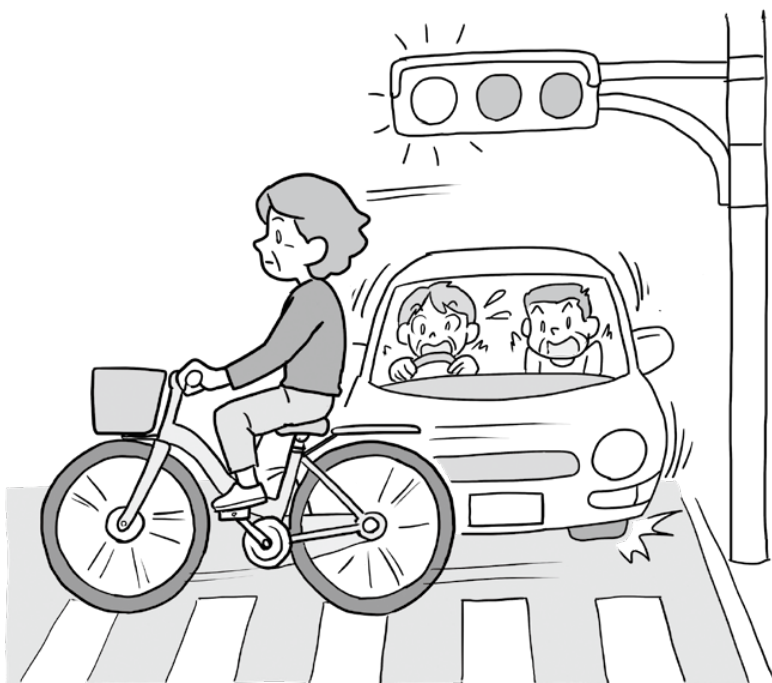
危なかった原因

- 道路が狭かった。
- スクール・ゾーンだった。
- 前が見えづらかった。
- 角から急に子供が飛び出してきた。

教訓

みんなの
教訓にして
もらいたいこと

- 狭い道路では、何が飛び出してくるかわからないので、直ぐに止まれるスピードで運転すること。
- スクール・ゾーンでは、特に注意して運転すること。
- 団地などの草刈りや剪定に行く場合は、子供たちが遊んでいることがあるので注意すること。
- ボールなどが転がってきたら、子供が飛び出すものと考えブレーキを踏むこと。



次のページを見る前に下記のことをご自身で検討してください。

- 1** 上の絵は、就業中に実際に事故があった又はヒヤッとした体験の一場面をイラストにしたものです。この状況を想像し、考えられる危険要因を挙げてみて下さい。
- 2** あなたなら、どのようにしてこのヒヤリハットがないようにしますか。

前ページの絵のヒヤリハットした状況

何の仕事をして いた時のことですか	除草作業就業途上
そのとき何人で 仕事をしていましたか	2人
どんなことが 起こったのですか	交差点で信号が変わったので、車を発進させたら、信号を無視して自転車が飛び出してきた。
どんな場所で (周囲の状況)	交差点
どのようなこと をしていて	車の運転中
どうなった のですか	急ブレーキを踏んで衝突は避けられたがヒヤリとした。

ヒヤリハットした原因と今後の教訓

原因

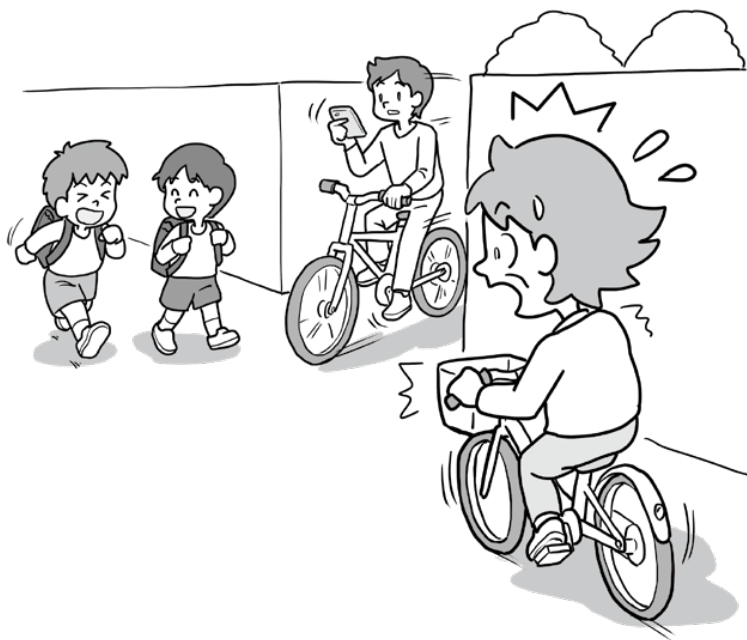
危なかった原因

- 小さな交差点だった。
- 老人が自転車に乗っていた。
- 老人は信号を見ていないようだった。
- 早朝で、交通量が少なかった。

教訓

みんなの
教訓にして
もらいたいこと

- 高齢者や子供が自転車に乗車していたら、急に蛇行することがあるので、注意して車を運転すること。
- 交差点では、信号が変わっても、飛び出しがあることを注意すること。
- 早朝は、急いでいる人が多いので、運転には注意すること。
- 交差点では特に、周りへ目を配り、注意して運転すること。



**次のページを見る前に下記のことを
ご自身で検討してください。**

- 1** 上の絵は、就業中に実際に事故があった又はヒヤッとした体験の一場面をイラストにしたものです。この状況を想像し、考えられる危険要因を挙げてみて下さい。
- 2** あなたなら、どのようにしてこのヒヤリハットがないようにしますか。

前ページの絵のヒヤリハットした状況

何の仕事をして いた時のことですか	就業途上
そのとき何人で 仕事をしていましたか	1人
どんなことが 起こったのですか	自転車で通勤途上、小道から急に自転車が飛び出してきて、衝突しそうになった。
どんな場所で (周囲の状況)	駅の近く
どのようなこと をしていて	自転車で通勤中
どうなった のですか	急ブレーキをかけ、衝突は避けられたがヒヤリとした。

ヒヤリハットした原因と今後の教訓

原因

危なかった原因

- 相手が狭い所から急に飛び出てきた。
- 相手はスマホを見ていた。
- 前に子供がいたので、子供に注意が行き気付くのが遅れた。

教訓

みんなの
教訓にして
もらいたいこと

- 自転車や車を運転する際は、スマホを操作しないこと。
- 交通ルールを守って運転すること。
- 安全対策として、自転車用ヘルメットをかぶること。
- スピードを出さないこと。



次のページを見る前に下記のことをご自身で検討してください。

- 1** 上の絵は、就業中に実際に事故があった又はヒヤッとした体験の一場面をイラストにしたものです。この状況を想像し、考えられる危険要因を挙げてみて下さい。
- 2** あなたなら、どのようにしてこのヒヤリハットがないようにしますか。

前ページの絵のヒヤリハットした状況

何の仕事をして いた時のことですか	就業途上
そのとき何人で 仕事をしていましたか	1人
どんなことが 起こったのですか	歩きスマホをしている人にぶつかられそうになった。
どんな場所で (周囲の状況)	駅の近く歩道
どのようなこと をしていて	歩いて通勤中
どうなった のですか	自分に向かってきたので、脇によけやり過ぎしたが、向かってきた人は、全然気にするそぶりもなく通り過ぎたので、ぶつかったらと思いヒヤリとした。

ヒヤリハットした原因と今後の教訓

原因

危なかった原因

- 相手がスマホを見ていた。
- 歩道が狭かった。
- 急いでいた。

教訓

みんなの
教訓にして
もらいたいこと

- 周りをよく見て歩くこと。
- 急がないこと。
- 自分は歩きスマホをしないこと。



次のページを見る前に下記のことをご自身で検討してください。

- 1** 上の絵は、就業中に実際に事故があった又はヒヤッとした体験の一場面をイラストにしたものです。この状況を想像し、考えられる危険要因を挙げてみて下さい。
- 2** あなたなら、どのようにしてこのヒヤリハットがないようにしますか。

前ページの絵のヒヤリハットした状況

何の仕事をして いた時のことですか	就業途上
そのとき何人で 仕事をしていましたか	1人
どんなことが 起こったのですか	雪の日歩道橋を下りようとしたら、雪が凍っていて転倒しそうになった。
どんな場所で (周囲の状況)	就業場所の近くの歩道橋
どのようなこと をしていて	歩いて通勤中
どうなった のですか	歩道橋の手摺につかまり転倒しなかったが、そのまま転倒していたらと思いヒヤリとした。

ヒヤリハットした原因と今後の教訓

原因

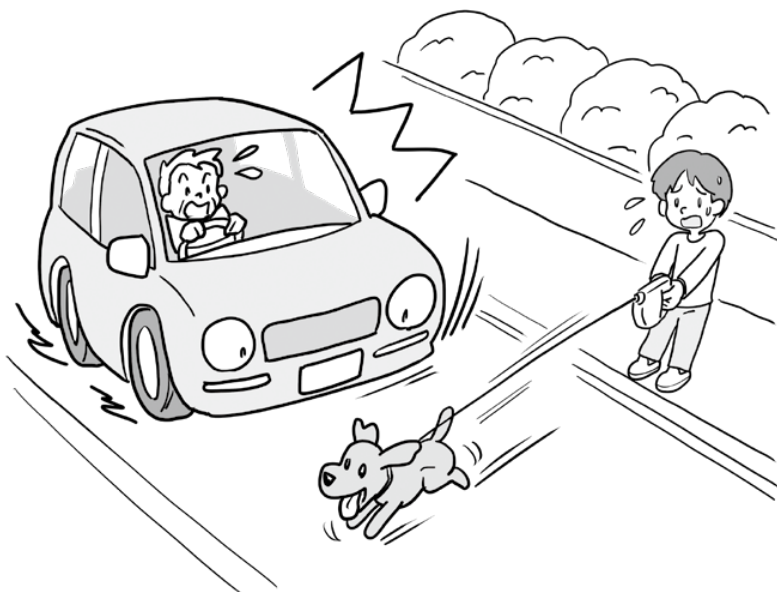
危なかった原因

- 雪がそんなに降っていなかったもので、滑らないと思っていた。
- 歩道橋を通らないと、遠回りになるので嫌だった。
- 急いでいたので、危険かなと思ったが、歩道橋を通過してしまった。

教訓

みんなの
教訓にして
もらいたいこと

- 歩道橋などは、地面ではないので、雪などが凍りやすいから注意すること。
- 雪の日は、通勤に時間をかけ、遠回りでも安全なところを通過して通勤すること。



次のページを見る前に下記のことをご自身で検討してください。

- 1** 上の絵は、就業中に実際に事故があった又はヒヤッとした体験の一場面をイラストにしたものです。この状況を想像し、考えられる危険要因を挙げてみて下さい。
- 2** あなたなら、どのようにしてこのヒヤリハットがないようにしますか。

前ページの絵のヒヤリハットした状況

何の仕事をして いた時のことですか	除草作業の就業途上
そのとき何人で 仕事をしていましたか	1人
どんなことが 起こったのですか	自家用車を運転して除草作業の就業途上、散歩中の犬が車道に急に飛び出してきた。
どんな場所で (周囲の状況)	発注者宅近くの路上
どのようなこと をしていて	自動車の運転中
どうなった のですか	急ブレーキを踏んで、犬の手前で停車したが、ブレーキが遅れていたらと思い、ヒヤリとした。

ヒヤリハットした原因と今後の教訓

原因

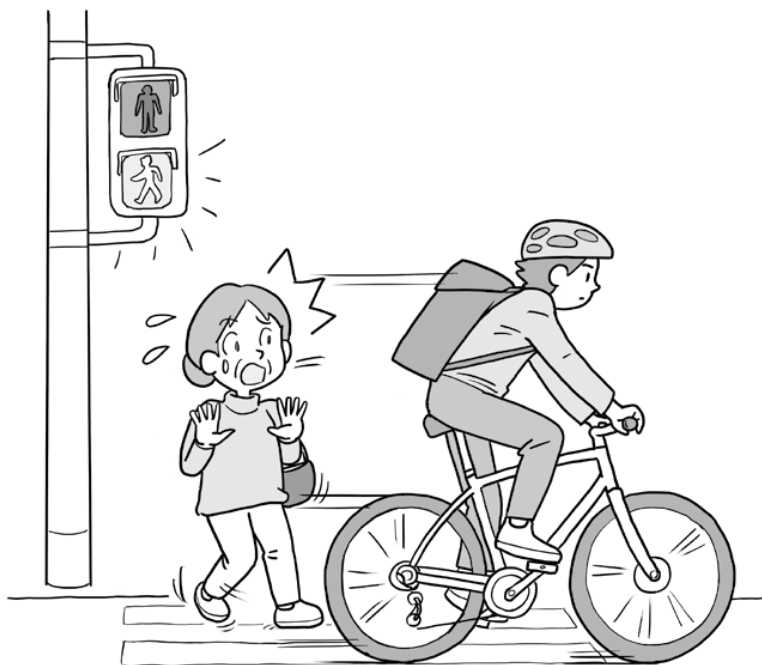
危なかった原因

- 車道が狭かった。
- 犬のリードが伸びるタイプだった。
- 飼い主がリードを伸びる状態にしていた。
- 子供もいたので、注意がそれ、反応が遅れた。

教訓

みんなの
教訓にして
もらいたいこと

- 狭い道では、スピードを抑え徐行すること。
- トラブルが発生することを予測して、運転をすること。
- 犬や子供がいる場合は、車のスピードを落として、急な動きに対応できるようにしておくこと。
- 運転は細心の注意を払って行うこと。



**次のページを見る前に下記のことを
ご自身で検討してください。**

- 1** 上の絵は、就業中に実際に事故があった又はヒヤッとした体験の一場面をイラストにしたものです。この状況を想像し、考えられる危険要因を挙げてみて下さい。
- 2** あなたなら、どのようにしてこのヒヤリハットがないようにしますか。

前ページの絵のヒヤリハットした状況

何の仕事をして いた時のことですか	就業途上
そのとき何人で 仕事をしていましたか	1人
どんなことが 起こったのですか	歩行者用青信号で、交差点を渡っていたら、自転車スピードを出して交差点を通過したので、ぶつかりそうになった。
どんな場所で (周囲の状況)	交差点
どのようなこと をしていて	歩いて通勤中
どうなった のですか	歩行者用青信号は、自転車に乗ったまま通行できないので、安心して渡ろうとしたが、スピードも落とさず自転車が交差点に突っ込んできたので、接触しそうになりヒヤリとした。

ヒヤリハットした原因と今後の教訓

原因

危なかった原因

- 歩行者用青信号に乗ったままの自転車が侵入してきた。
- 歩行者用青信号に自転車が侵入する際、自転車を引いて徒歩で渡らなければならないことを理解していない人が多い。
- 自転車がスピードを出していた。

教訓

みんなの
教訓にして
もらいたいこと

- 歩行者用青信号に自転車が侵入する場合は、降りて歩くこと。
- 自転車は小型車両であることを理解すること。
- 事故を起こした場合、多額の賠償金を支払わなければならないことを理解すること。
- 自転車に乗車した場合は、車両として扱われるので、車両としての交通ルールに従うこと。